

【山崎主宰の俳句】

南無妙

山崎 聰

台風の前のろのろろといて眼鏡

天空に猊を眠らせかくて秋

火口湖のもみじすべてがはじまりぬ

すでにして霧立ちのぼる都かな

神留守のまつただなかの大時計

総門は閉ざされ落葉枯葉落葉

耳立てて立冬の街あるきけり

海までの百歩が遠ししぐるるか

一切放下とは北風の中の浮標ブイ

南無妙の橋越えてくる寒さかな